

日立シニア会

第19号

発行
平成18年4月1日

大みかゴルフ日立シニア会会報



大みかクラブ雪景色 平成18年1月

偶 感

監事 近藤 晋司



中成沢町の我が家の前に立ち道路を眺めている。何年か前までは日常的に見られた小学生達が戯れながら楽しげに通学する光景は、今では見ることはまずない。車が疾走する広く新しい道路の両側の広い歩道に、人影はまばらである。高価そうな犬(お犬様?)を愛児のように大切そうに抱える女、犬の排泄物を袋に入れて持ち歩く。

想定内外が流行語になった年、遂に日本の人口は想定どおり減少に転じた。喜寿を過ぎた筆者が生まれた壬申の同年(1932年)生まれは218万人だが、予想によると近未来では100万人もの減少になるらしい。集団就職、団塊の世代、学生運動など、人々が満ち溢れ活気に充ちていたが、今、地方は過疎、隔世の感をぬぐえない。毎日のように報じられる天災人災も、変な世を感じさせる。

閑話休題、私がゴルフを始めて久しく、日立シニア会に入って10年にもなる。人生もワンラウンド(パー72)を過ぎエキストラホールに入っている。「歳がゴルフを停滞させることもあるが、開花させる事もある」また曰く「幾つになっても新しい発見がある」と聞いた。だが、現実には厳しく腕前に進歩は無いが、何かがあると、可能性にかけて大褻にせつせと通いたいと考えている。

戦後60年回顧特集

一瞬焦土と化す



A組
高橋 市蔵(談)

昭和20年1月1日、日立工場は出勤日でありました。元日が出勤日であったのは後にも先にもこの年だけでありましょう。

当日は早晨午前1時から熊野神社にて必勝祈願新年祭が挙行されました。然し、空襲警報が発令され一時式が中断されるという事態もありました。それほど戦局は急を告げ明日をも知れぬ日々でありましたので、大西工場長が成田山に参詣、御守り札を請けて職場に配られ、その御守りの木札に氏名生年等を記載し認識票の如くに首に掛けたものでした。

同年6月10日、海岸工場は万雷の如き1噸爆弾の猛爆を受けましたが、私は幸運にも壕中に命拾いし、

延年益寿を享受して、昨年皆様から卒寿の祝詞を頂戴しました。これも不動明王のご利益のお蔭ならんかと今でもこの御札を大切に捧持しております。

小平記念館展示の『一瞬化焦土』と云う大西さんの揮毫を見るにつけ、爆撃により瞬時にして山容改まり鉄骨累々とした工場の惨景を鮮烈に想起します。硝煙去りやらぬ中、大西工場長は“諸君は左手に傘をさし右手で機械のハンドルを執れ！”と大音声で訓辞をされました。

この60年は日立にとってまさに双手渾身の苦闘の日々でありましたが、必ずや世に誇れる日立創業百年の栄が齎されるものと信じており、爆撃で殉職された諸氏にもその燦たる日立の雄姿をご照覧賜りたいものであります。



成田山の認識票

連合艦隊の生き残り



A組
黒澤 光明

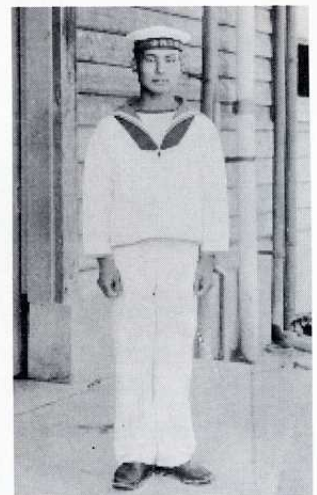
60年程昔、私は海軍工機学校を卒業しましたが乗る船も無い時代、戦艦“大和”に乗艦の夢が叶った同期生を羨ましく思ったものです。沖縄が敵の手に落ち本土決戦が囁かれる程の厳しい戦局を挽回すべく沖縄奪還の艦隊が編成され、私は旗艦大和に従航の駆逐艦“響”に油さしとして乗艦の機関兵でありました。

既に制空権は失われ、海上戦力の彼我の格差は戦わずして知っていたのかも知れません。呉を出港し戦場に赴く途中“響”は触雷して艦体を著しく損傷し、

戦列を離脱して引き返さざるを得ぬ羽目に陥りました。

ポツダム宣言受諾のご詔勅は新潟の軍港で拝聴、耐え難い虚脱感に襲われたものであります。程なく復員、遺髪を託して出征した私を日立工場は暖かく迎えてくれました。工場は瓦礫の山でしたが上長の綿森力さんがお骨折り下さり、最後の復員者として受け入れて頂き、このご恩は終生忘れ得ぬものであります。

『九段で会おう！』と堅い契りを交わして別れた亡き友との語らいに折々靖国神社を訪れ平和祈願をしておりますが、昨今の海外からの小泉総理の靖国参詣指弾には云うに云われぬ寂寥感に包まれます。そして今、私は60年の昔を偲び戦艦大和の模型作成に着手し、同艦と共に逝った人々の御霊安かれと祈念して居る次第であります。



海軍工機学校生の頃

戦後60年回顧特集

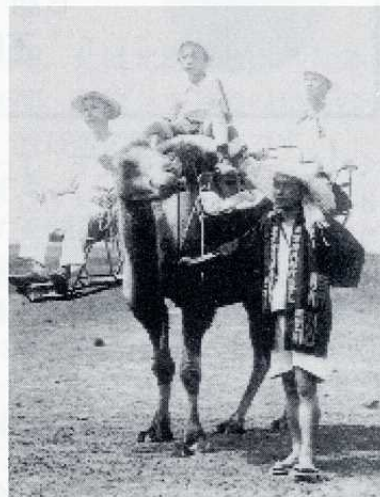
60年前のこと



A組
清宮 新一郎

60年前というと私は東京の中学生でした。本当の激動の時代です。戦争が激しくなり、もう学校の授業はなくなり、学徒動員でいろいろな仕事に従事しました。中でも忘れられないのは陸軍造兵廠でやった新兵器「風船爆弾」の仕事です。

風船爆弾とは大型気球を成層圏の偏西風に乗せて米国土まで飛ばし、米国土爆撃をしようというものでした。実際には直径10メートルの気球を太平洋岸で9,000個打上げ、米本土に届いたものが300個位という記録が残っています。実際の



三原山への親子旅行

の仕事は風船爆弾の高度維持のための制御装置の配線作業でした。いわゆるハンダ付け作業ですが、内容は一般の作業者と同じで12時間勤務2交代制という厳しいものでした。制御装置としては圧力センサーで高度を感知し、あるところまで下がると重りを少しずつ切り離し軽くして高度を回復させるものです。米国までは50~70時間かかったそうですから昇降を何回も繰り返したことでしょう。実際の効果はたいしたことがなかったと思いますが、その独創的なアイデアを私は今でも楽しく気に入っています。

その後私は軍隊の学校に入りましたが、まもなく日本本土への空襲が始まり私の家も東京も焦土となりました。そのため写真も殆どなくここに載せたのはその数年前親子で三原山に行ったときのものです。

国民学校一年生



B組
青木 昱秀

この写真は、昭和16年4月、小生が国民学校入学を祝って父親が自慢のカメラで、自宅の庭で撮ってくれたもの。大東亜戦争が始まる直前で、色々な面でまだ余裕のあった頃でした。それから戦争の終るまで一枚の写真ありません。

昭和20年6月10日、小生は国民学校5年生で、当日は早朝、警戒警報が発令されたので、登校せず家で待機していました。午前7時過ぎに空襲警報が発令され、9時頃からB29による日立工場への爆撃が始まりました。小生の家は大



国民学校一年生

和町（現在の平和町）にあり、庭先の防空壕に一家8人が退避しておりました。

1トン爆弾による工場への爆撃の流れ弾が、南側隣地に着弾し、2軒の家が吹っ飛び大きなクレーターができました。我が家の防空壕の入口は、クレーターの端から5mの所にあり、爆弾により全員胸まで土砂に埋まりました。

運良く庭木の枝が入口を塞いでくれたので、生き埋めにはならず命拾いました。その後7月17日には艦砲射撃、7月19日には焼夷弾攻撃を受け、日立の街は焦土と化し、我が家も焼失しました。そして終戦、あれから60年、着弾位置が10mずれていたら、一家はこの世に存在せず、この60年もなかったわけで、“神様に与えられた命だ”としみじみ感じています。

戦後60年回顧特集

私の原点



B組
正岡 功

私は、父が戦闘機製造の会社に勤めていた関係から東京の立川で生まれ育った。しかし、昭和19年暮小学3年生の時、空爆を避けるため東京都下大久野村（現日の出町）の三ツ沢部落へ母と弟の3人で疎開することになった。それから高校2年迄この村で生活した。先日、53年ぶりにこの部落を歩いて訪れてみた。道路は広く舗装されバスが通っていたが、見渡す景色は殆んど変わってなく、60年前を思い出させる懐かしいものであった。

疎開先では、隣近所、友達も皆暖かく迎えて



国民学校二年生

くれた。小学校は分校で、1～3年生、4～6年生の2クラス、先生は3人であったが、イジメもなく、自然に恵まれた生活で楽しかった。帰り際にはよく河原で遊んだ。

戦後は、父の会社が解散の上、インフレで物価は上昇し生活は苦しかった。買い出しと山菜で飢えをしのいだ。しかし、何事にも一生懸命で心の充実感があった。好き嫌いがなく、「もったいない」の精神も自然に身についたように思う。

中学では、片道約7kmを歩いて通学した。このお蔭で足腰が丈夫になり歩くことが好きになった。高校受験には、親友と机を並べて頑張った。・・・この親友の妹は、今私の側にいる。

このように、この村は私の心のふるさとであり、この村で培われた生活は私の主発点といえよう。

私の終戦前後



B組
志村 浩道

60年前、私は小学校4年生の子供だった。ある日、近所の子供たち数人と遊んでいたがいつの間にか友達がなくなり、家に帰ることにした。いやに静かで道路を歩いている人もいない。遠くの方に飛行機が見えた。私が手を振ると飛行機が高度を下げて近づいてきた。飛行機に乗っている人の顔が見え笑っているようだった。飛行機は私の上を道路に沿って飛んで行った後、大きく旋回して再び同じコースを飛んできた。今度は道路上を機関銃を撃ってきてびっくりした。アメリカの飛行

機だったのだ。撃たれたら大変と道路のそばの民家の塀に隠れ、飛行機が通り過ぎるのを待った。その後夢中で自分の家に走った。家には誰も居なかった。しばらくして、母が避難所から出てきた。「何処に行っていたの。空襲警報発令で、皆避難所に退避している。」とのこと。母は銃撃の音で私が撃たれたものと思ったようだ。宮城県加美郡中新田町（現在の加美町）での終戦直前の私の体験である。この時撃たれていれば私の人生は10歳で終了していたことになる。

あれから60年が経過し、平成17年に私は古希の70歳となった。ありがたい事に健康に恵まれているので、あと10年位はゴルフを楽しんでいきたいと願っている。



中学三年生当時

戦後60年回顧特集

敗戦から60年を生き抜いて



C組
今井 信一

の爆撃等を見ていた。私の家の周りには日本を代表する軍需工場の巨大な中島飛行機工場群や陸軍及び海軍の飛行場が有り毎日数十機の飛行機が飛んでいた。しかし不思議なことに空襲警報が発令されると日本機は一機も飛ばなくなり空は米軍機で埋まり、高射砲も迎撃機も音なしになっていた。我が物顔で低空飛行する米軍機の巨大さは対戦相手では無く、小人の国のガリバーでした。戦争で父の兄弟10人、自分の兄弟8人奇跡のように1人も死ななかった。しかし生活は苦しく家族全員で懸命に働いた。こんな中でも大学まで出してくれた父には大変感謝している。金は無かったがお爺さんの徳が救ってくれたと父の回顧。戦争と戦後は広く世界を知り知性を持つこと、そして人には親切にしておく事を教えてくれた。

60年前の春、姉に連れられて地元の高山神社にインドネシアに出征している父の無事を祈るために出かけた。姉の真剣さに不思議な気持ちでつられて祈った。それから数ヶ月後の暑い夏、家にいる全員が裏庭に集められた。12時より玉音放送があるとの事でした。ラジオからしわがれた声で、小学校一年生には難しい言葉ではあったが、日本が負けたことは理解できた。お婆ちゃん、母、姉達は涙を流しながら聞いていた。

私は子供ながら日本は負けると思っていたので当然の日は来たと思った。理由はお爺ちゃんを見ていた戦況だった。お爺ちゃんはもう年だからと言って防空壕には入らなかった。庭の木の下に隠れて何時も米軍機



本土爆撃のB29編隊

3歳児の記憶



D組
鈴置 昭

戦時中のもので、恐らく3歳になったばかりの頃のものと思う。枕元に置いた防空頭巾、近所の防空壕の床に敷いてあった簀子、艦砲射撃を避けて山陰から見た夜空、戦後しばらく我家に下宿していた海兵団の兵隊さんなど断片的なものばかりである。終戦の翌年に父は無事に復員したがそのときの記憶は定かでない。

戦争そのものについて私には大した感慨はない。20年ほど昔のことだが、私のカリフォルニア滞在中に両親が訪ねてきたことがある。「こんな国とよく戦争をしたものだ」ともらした父の言葉が印象に残っている。

人生の大半を平和裏に過ごせた私達の世代に乾杯。

私の生まれは静岡県新居町で、高校まで18年間をそこで育った。南を遠州灘、東を浜名湖に面した温暖な土地で、江戸時代に東海道の守りとして置かれた「新居の関」が残っている。

昔の写真は、戦地の父に家族の近況を伝えるために撮ったもので、立っているのが2歳年上の兄、私は2歳で母の膝に抱かれている。写真撮影に大分抵抗したらしく、それで母の着物の裾がずれてしまったと、この写真を見る度に母はこぼす。

私の最も古い記憶は



二歳の頃：母の膝にて

良きパートナー

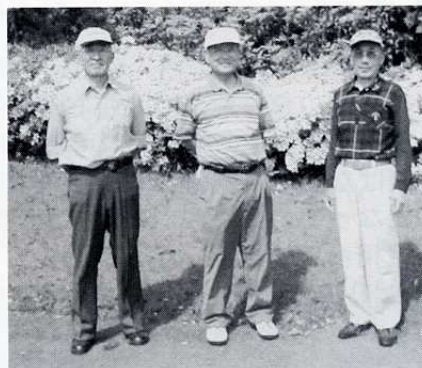


A組
佐野 司

楽しんでる事になりますが、それが続けられるのもゴルフがもたらす健康の賜物だとパートナーと喜び合っています。

近隣のゴルフ場のプレー費が格安になったことも理由の一つにあげられましょうか。プレーが終わるとレストランでコーヒーを（ビールでなく）飲みながら賑やかにオリンピックのチョコレートのやりとりを済ませたあと、翌月の予定を決め、その場で予約を済ませて帰ります。皆さん「サンデー毎日」生活のはずなのに毎回日程を決めるのが一苦勞です。皆さん健康で趣味や社友会行事やボランティア活動などで忙しく活躍しているからで、それもまたいい事です。

ゴルフをやるたびに、大空の下、緑の芝生を歩きながら、健康であることの幸せを感じています。私には毎月一緒にプレーする仲間が三グループあります。いずれも10年近く続いていて互いに気心が通じ合い、本当に良きパートナーです。健康ゴルフをモットーにスコアは気にしないことにしています。しかし最近ドライバーを新営投資する人が多いのは、加齢による飛距離の衰えが気になる所為で、我々年代の共通の悩みです。不定期のクラス会コンペやシニア会コンペに参加したりしていると平均してほぼ週一回ゴルフを楽



仲間とゴルフ場で

広報委員をリタイヤして



B組
植田 光

Y委員長からは古武士然とした風格と文体、リーダーシップの在り方を教わった。又先に辞められたM委員からは、軽妙洒脱な文体の作り方を、S委員からはさすがに会報づくりのベテランらしく、ゲラ校正法を朱を入れた実例で教わり更に、次のことを教わったのは印象に残る。

1. 報道は出来事を書く。
2. コミュニティは、俺との関係を書く。
3. 会報は、人を書く（記事には名前を）。

以上のことは、これからも文を書くうえで、何かの会報をつくるうえで非常に参考になる。有難いことに思っている。

最後に、広報の皆さんが節目、節目に集り、委員長差し入れの銘酒で快く酔ったこと忘れ難い思い出である。有難うございました。

このたび、8年にわたるシニア会会報づくりから手を引かせていただいた。年2回発行だから延べ16回の会報づくりに係ったことになる。感謝の念あり、思いつくまま回想してみたい。

日立シニア会会報の狙うところは、見易く、明るい話題で品格を有し、ルール、技術には厳しく、会員相互の意思疎通の場でなければならないと思っていた。

幸いに素晴らしい上司、仲間巡り会えた。K委員長は好好爺そのもの、見事な気配りの仕方、徳とはを学んだ。



広報委員の皆さん

ゴルフというスポーツに思う



C組
小野寺 勝重

スコアは約92ですがこれを少しでも改善したいと思い、1から出直すつもりで、最近ゴルフレッスンの通信教育を受けることにしました。通信教育でびっくりしたことは、アドレス、バックスイングの始動、ダウンスイングの方法などすべてが基本と全く違っていったことです。

シニア会のシングルプレーヤーのように正しいスイング軌道を身に付けている人々には、ゴルフは易しく、楽しいスポーツなのであろうと思う今日この頃である。

写真は課題をもとに写したもので、左腕のくぼみが上側ではなく、内側になっていると指摘を受けたものです。

ゴルフを始めて40年になろうとしています。

20代でクラブをにぎり、30代では出ればベスグロ優勝となった時がありました。ゴルフは全くの自己流でしたが、それでも結構なスコアで回れたのはなぜかと未だ判明していません。ベストスコアは34、40の74でした。しかし、日によって大きくスコアが変わった事も事実です。すなわち、安定性がなかったことです。

退職後、ゴルフの平均



レッスン中

平々凡々たる生活を楽しむ



D組
高山 省三

っと出かけ、見知らぬ人たちとでも、薄暮プレーをご一緒できるのが良い。

水泳では、3年前から、旧常北町の健康増進施設ホロルの湯の会員になり、週2回のペースで水泳と温泉を楽しんでいる。約1.5kmを泳ぐが、女性に「ゆったりした泳ぎですてき！」とか褒められると、手とり足とりで教えたくなる。また、上手な子供がいると、歳を忘れ、ついて泳ぎ、ぐったり疲れて、その日は熟睡することになる。

ホロルの湯は、家から約1時間の距離にあるが、苦にならないのは、途中の山道で車を止め、大声で詩吟を唸り詩吟教室の予習、復習が出来るからである。これが実に楽しいのである。

平々凡々たる生活を送り始めて、はや3年半になるが、70代、80代になっても続けたいと思っている。

若い頃、「やっぱりゼニやな」という雰囲気嫌い、大阪を離れて、はや40年になった。最近は懐かしく感じたりすることもあるが、一方、日立の住み易さを実感しているこの頃である。

退職時、これからは、心身共に健康が第一と、ゴルフと水泳で体を、詩吟と読書で心の健康を維持しようと考えた。そのような観点から、周りを見ると、今住んでいる金沢団地は、最適の所にあると思う。

ゴルフでは、大みかゴルフ場が10分以内の所にあり、25分で某ゴルフ場に行くことが出来る。朝起きて、快晴であれば、早めの昼食をとり大みかにぶら



山中での詩吟

「大豆生田（おおまめせいた）」

D組 大豆生田 勇



私は大豆生田、仮名では「おおまめせいた」と申します。漢字四文字の姓ゆえに珍名に指定されました。大豆生田の読み方は27通りもあり、「おおまみゅうた」と名乗る家が最も多い。大豆生田の名は江戸時代に下野国下都賀郡菌部村松平領の名主として記録されている（栃木県地名大辞典）。父親の出身は現在の栃木県下都賀郡岩田村であるが、栃木市、下都賀郡近傍の町には、大豆生田姓が多い。

電話帳には103軒が登録されている。未登録の家もある事を勘案すれば栃木市近傍だけで人口は350内外と推定される。「歴史読本日本の苗字10,000」（新人物往来社）によると大豆生田姓の国内推定人口は1,000人、人口数で8,289位とある。四文字の姓として勅使河原、勅使川原、小比類巻に次いで四番目に多い。或る研究者によると武田信玄の家来が下野国に移住したとある。山梨県北杜市須玉町には大豆生田という地名が現存しているが大豆生田姓との関連は今のところ、定かではない。

珍名ゆえの得は名刺交換した後は長く名を覚えて貰えること位です。呼び掛け方としては初対面の頃は大豆生田さん、少し親しくなると大豆さん、先輩は大豆君、友人は豆さん、朋友は豆となります。子供の頃は揶揄されるので名乗るのが嫌であったが、今では愛着を持っています。これから先祖伝来の大豆生田でゆく所存ですのでよろしくお願い致します。

「私の苗字は…」

D組 四十物 雄次



広辞苑には"あいもの"とは相物、間物、合物とあり、四十物とも書くとされ、塩魚類の総称、また鮮魚と干魚の間のことを言うときいてあります。富山市内には昔は四十物町がありましたが、今でも西四十物町が残っております。（振仮名に"あいもん"とありますが）。北陸地方には、あいと読む四十の付く苗字が色々あります。10年程前、全国の電話帳を調査した人によれば約400軒あり、最も多い四十物は180軒で、富山が最も多く、次いで東京、北海道になるそうです。四十物の謂れについては、ある網元が或る日、漁をしたら40種類の魚が取れたのが始めとか。魚、干物、昆布等の海産物を北前船の寄港地であった旧網元の屋敷の展示に見ることがあります。

ゴルフとの関係で言えば、昔、"君の名前は40だが、ゴルフは50か60だね!"と言われてから、なかなか40台を出せないでおります。アウト、インの両方は無理としても、片方は40台を出そうとしていますが、なかなか実現できません。また、宅配輸送したバッグをゴルフ場で探す時、バッグに振仮名を付けてあるのですが大抵ア行には無く、"しじゅう"のサ行や"よそ"のヤ行を探し漸く見付けております。



一説に5人に一人が腰痛をもっているともいわれます。湿布のテレビCMや健康食品の効能、「本当は怖い・・・」のテレビ番組など、玉石混交の情報が巷には氾濫しています。腰痛という言葉は“腰のあたりが痛い”という意味で、いろいろな病気によって起こります。例えば腎結石や婦人科系の炎症でも腰痛は起こります。また大動脈の病気でも腰痛が出ることがあり、この場合は放置すると生命の危機に直結します。

腰痛の中でも、背骨、背骨の関節、神経、筋肉靭帯の原因によるものを整形外科での治療対象としています。

背骨やその関節が原因となるものには、細菌（化膿性脊椎炎）、がんの転移（転移性骨腫瘍）、背骨の連結のゆるみ（腰椎すべり症）などがあります。

これらは慢性的な腰痛があり、急激に悪化する事もあります。抗生剤・コルセット・手術が必要となることがあります。

神経が原因であれば、腰痛に加えて足の痛み・しびれなどを伴うことが多く、腰椎椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症などがあり、治療に手術が必要なこともあります。近頃、著名テレビ司会者が脊柱管狭窄症で手術を受けて知る人が多くなりました。

ただ、腰痛の多くは腰の筋肉や関節の炎症が原因（筋・筋膜性腰痛症など）とされ、簡単に言えば腰の筋肉痛です。この場合、病院では湿布を処方するだけ、ということも多く、「整骨や整体ではいろいろ施術してくれるのに、病院は長い時間待っても湿布くれるだけ」と不満な方もおられるかもしれません。整形外科では、腰痛の原因として、重大な病気が隠れていないか、神経や骨が原因ではないか、などを確認してから、湿布の処方をしているのですが、場合によっては不満に感じられる方もおられるかもしれません。

筋肉痛とわかっておれば、わざわざ病院に行く人はいないでしょう。ただ、常識でわかりそうなこと以外でも、ご自身の腰の筋肉の強さに比べて、強い負荷がかかると筋肉の炎症は発生します。イベントでの競技や大掃除などは一時的に負荷がかかります。肥満や家族の介護では継続的な負荷が増加します。また、病気で寝込んだ後などは筋力が想像以上に低下して相対的に筋肉への負荷が増加します。ゴルフでいえば、コンペ前にいつも以上に練習した（一時的）、フォームを最近変えた（継続的）、などが考えられます。

一時的な原因による炎症であれば、湿布を使うまでもなく、何もしなくても痛みは治まることもあるでしょう。しかし、継続的な負荷が原因の場合には、薬を連用しても痛みは治りません。過大な負荷をなくす（生活をかえる・運動をやめる）、もしくは筋肉の強化・サポート（腰痛体操・コルセット）が必要になります。実際には負荷をなくす事は難しく、筋力強化が根本的な対策となることが多くあります。

しかし、残念ながら腰周りの筋肉を簡単に強化する薬はなく、地道な腰痛体操が必要になります。湿布やマッサージ、整骨や鍼灸では筋力はずきません。腰痛体操を表現すると、ぱっとしませんが“いそがばまわれ”なのです。

上記の他にも、心理的・社会的等、様々な原因で腰痛は起こり、病院で検査をしても原因が不明のことも多くあります。腰痛の治療については、そのテーマだけで著名な医師による専門書が多数存在する奥の深いテーマなのです。

腰痛は、深刻な原因がないということさえ十分に確認されれば、激痛であっても十分に改善する病気です。ただ、慢性的な原因の克服には地道な努力が必要な場合もあり、その意味では難治性の病気といえます。また、その地道な努力が腰痛を予防する健康維持法でもあります。

最後に一言。腰痛に不安を感じたときはもちろん、今まで感じたことのない腰痛、なかなか治らない腰痛、腰以外の症状を伴う腰痛などの場合は、漫然と腰痛体操で様子をみたり、整体などの利用を続けるのではなく、一度整形外科を受診され、深刻な原因ではない、ということをご確認されることをお勧めいたします。

古希の挑戦 ホノルルマラソンに参加

B組 山内 益正



古希の記念にホノルルマラソンの参加を決めた。目標を、サブ4（4時間を切る）とし、年齢別（70～74歳）入賞とした。実は3年前 ホノルルを走り帯状疱疹に罹り 医者から「気力があっても身体が悲鳴をあげている」と走るのをストップされた身だ。当然家族の評判は悪い。でも次女（資生堂勤務・元実業団ランナー）は、「伴走とケアを兼ねて父と走る」と言ってくれた。当日（12月11日）スタートは豪華な花火を合図に早朝5時まだ暗いうちに競技開始だ。出場者2万8千人、内日本からの参加者1万8千人、JAL主催とは言え何とも凄い日本のエネルギーだ。

娘の伴走で、35kmまでの各5kmを28分のラップで刻み、通過タイム3時間15分、そこから、ダイヤモンドヘッドの上りがある最後の7kmはさすがにきつく、43分を要したが3時間58分でゴール。目標のサブ4を達成した。翌日の新聞で、年齢別で5位入賞（参加者147人中）を知る。

大満足のホノルルであった。娘に感謝し、応援して頂いた皆さんに感謝して報告とします。



第5位入賞ゴール



12回出場の石原政男さんと

個性を残す

C組 梅村 和男



「小人閑居して不善をなす」を心配してか、還暦の祝いに絵具を戴いた。絵は全く描いたことがない。こうなると絵具を使わぬのは勿体無い。

最初は、ハガキに庭の花をスケッチし顔彩で彩色した。下手な絵が貯まった。

惜しいので同じ花を三枚描き一枚を残し、あとは母と義母に毎週絵手紙にして送った。母が亡くなるまで続けた。病室の壁に弟の嫁が作品パネルにした私の絵が掛けてあった。手元には約二百枚の絵が残った。少しは絵具も減った。平行して、A4の画用紙を二百枚購入し、花を描き始めたが上手く描けない。

妻が正月の新聞で「花のスケッチ」淡彩画通信講座を見つけ薦めてくれた。申し込むと、教本や筆等と一緒に絵具が送られてきた。絵具が増えてしまった。

更に絵具を減らす努力と、専門家の指導を受けたせいか、一年後に新宿で開催の「花のスケッチ」展に二点入選した。こうなれば「山の芋、鰻になる」。

その後、「ゆうゆうカレッジ」や「県民大学」等で、日本画、水彩、油彩を学習した。今は油彩で「煙霞の癖」になっている。

「親の六十、子は知らぬ」とはならぬよう、絵で子に親の個性（存在の証明）を残したい。

「人生七十古来稀なり（古稀）」はもう直ぐだ。




油彩「もう、帰ろうヨ」（喜多方）

競技会成績

第192回競技会成績

於 日立ゴルフクラブ

	順位	優勝	準優	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	B G	優勝者のことば
☆S組 9月22日	入賞者名	清宮新一郎	二平豊治	渡邊則之	中野三郎	柴田廣	川崎健嗣	一木利信	山本清	黒澤光明	山崎精二	二平豊治	 <p>この度は欠席がちであったゴルフで久々の優勝となり嬉しい限りです。これを機に熱を入れて参加するように気持ちも高まります。同伴の佐藤さん、垣花さん、安達さんの楽しいプレーに感謝します。</p>
	G	95	83	99	102	89	93	101	100	117	98	83	
	H	21	8	21	24	10	14	21	19	36	16		
	N	74	75	78	78	79	79	80	81	81	82		
	新H	17	7	19									
☆A組 9月22日	入賞者名	坊坂明	名久井徳弥	桜井正一郎	田崎健治	伊藤悟朗	三好文之	安達宏	岡村参次	佐藤幹夫	小又洋次	坊坂明	 <p>素晴らしい、お人柄の久保寺会長とD組滝川さんにお供して、会長には、ワンパットの極意を学び、滝川さんには、敢えて悪いショットを打たれて範を示され、お蔭でステディなゴルフに終始出来ました。</p>
	G	74	92	89	94	96	106	106	91	88	94	74	
	H	7	20	16	21	22	31	29	12	8	14		
	N	67	72	73	73	74	75	77	79	80	80		
	新H	2	17	14									
エイジシュート達成 坊坂 明													
☆B組 9月8日	入賞者名	古目谷勲	橋本宏	渥美秀夫	雨宮滋	篠田和男	曾根原隆士	中津川恵一	長山忠司	高崎健三	林正廣	古目谷勲	 <p>厳しい残暑の中でベスグロ優勝と聞いてビックリ。優勝は兎も角ベスグロとは。皆さんも暑さに参ったのでしょうか。少々健康に自信が持てました。同伴の皆様、元気を頂き多謝します。</p>
	G	85	88	87	97	106	91	99	103	93	89	85	
	H	13	13	10	20	29	13	21	25	14	9		
	N	72	75	77	77	77	78	78	78	79	80		
	新H	10	11	9									
☆C組 9月8日	入賞者名	石川良雄	谷中雅雄	海老根満	下田吉秀	海老根克明	金子義和	杉山靖	渡部正義	池田忠禧	今井信一	海老根克明	 <p>残暑が非常に厳しい当日、思いがけなく優勝する事が出来ました。前半パーなしで47、後半2バーディー3ボギーの37で自己ベスト、ひとえに良き同伴者のお蔭と感謝いたします。</p>
	G	84	98	85	87	78	99	101	85	86	85	78	
	H	12	26	11	13	3	24	26	9	10	8		
	N	72	72	74	74	75	75	75	76	76	77		
	新H	10	22	10									
☆D組 9月22日	入賞者名	高山省三	鈴置昭	石川隆宏	広瀬英貴	神林春次	藤田功	泉勝夫	千葉優明	片岡武	碓信吾	石川隆宏	 <p>まさかの優勝でした。同伴者の二平、高月、鈴木(令)諸氏には、静かに見まもっていただき、感謝しています。シニア会総務委員となり恥かしいスコアを出せないと考えたのが良かったようです。</p>
	G	90	83	81	84	91	91	86	96	101	87	81	
	H	25	15	12	15	17	17	11	20	25	10		
	N	65	68	69	69	74	74	75	76	76	77		
	新H	14	9	8	12								

競技会成績

第193回競技会成績 於 大みかゴルフコース

	順位	優勝	準優	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	B G	優勝者のことば
☆S組 10月27日	入賞者名	齋藤隆	石崎幸	浅利幹雄	山本清	田島増陸	下昭次	二平豊治	須貝弘	山崎清二	石川武重	二平豊治	 <p>田島さん、新谷さんと三人で気軽にプレー出来たので、ほどほどのスコアで回られました。優勝など考えた事もないのに我乍ら驚いています。でも卒寿の良い記念になると喜んでます。</p>
	G	106	90	103	96	92	99	86	115	97	102	86	
	H	31	14	27	19	14	21	7	35	16	21		
	N	75	76	76	77	78	78	79	80	81	81		
	新H	25	12	24									
☆A組 10月27日	入賞者名	佐野司	田崎健治	小野寺敬	中野修一	吉田晴彦	高月英男	横須賀元也	横田拓	涌井滋	茶園悦男	坊坂明	 <p>優勝の喜びとゴルフが出来る幸せを実感しています。よきパートナーの声援とボギープレー覚悟で不得意のスプーンを家に置き、ドライバーとアイアンだけでプレーしたのが勝因でしょうか。</p>
	G	93	97	95	97	95	99	96	117	90	94	90	
	H	20	21	18	19	15	19	15	36	8	12		
	N	73	76	77	78	80	80	81	81	82	82		
	新H	16	18	16									
BG同点 涌井 滋													
☆B組 11月10日	入賞者名	正岡功	箕輪勉	高橋博	植田光	吉田研之介	近藤正文	渥美秀夫	桑島敏夫	大阿久勝	志村浩道	箕輪勉	 <p>久しぶりの優勝に感激です。同伴者の桑島さん、出村さんと楽しくプレーできたお蔭と感謝しています。ここ半月、週2回練習場に通ったためか、ショットのミスが少なくなり、運も多くなりました。</p>
	G	97	87	98	89	99	100	88	97	104	91	87	
	H	28	11	22	12	21	22	9	18	25	11		
	N	69	76	76	77	78	78	79	79	79	80		
	新H	20	9	20									
☆C組 11月17日	入賞者名	今井信一	小野寺勝重	高坂七三	高橋礼次郎	小佐野勝春	星野和貞	酒井功一	堀内昭一	渡部正義	池田忠禧	今井信一	 <p>"無心が最高" ゴルフは本当にメンタルだ。調子が良くて狙って優勝したためしが無い。2ラウンドでハンデを使い切り諦めの心境がパープレーになり優勝が転がり込んできた。無心が最良と悟った。</p>
	G	80	84	86	90	95	96	88	91	85	86	80	
	H	8	11	12	16	21	22	13	16	9	10		
	N	72	73	74	74	74	74	75	75	76	76		
	新H	6	9	11									
☆D組 11月24日	入賞者名	四十物雄次	樋口修	中田正義	広瀬英貴	福井寛	嶋田晴勝	石田宏一郎	小西健司	岡田定五	山野邦雄	小西健司	 <p>今回の勝因は良き同伴者(泉川、綿引、千葉さん)と高HDにあり、その他ではNPとロングホールでのバーディの幸運によるものです。今回はBB、BMを取らないよう努力いたします。</p>
	G	99	91	94	87	93	89	90	80	84	82	80	
	H	27	18	20	12	18	13	14	3	7	4		
	N	72	73	74	75	75	76	76	77	77	78		
	新H	22	15	18									

第194回競技会成績

於 大みかゴルフコース

	順位	優勝	準優	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	B G	優勝者のことば
☆S組 2月23日	入賞者名	川崎 健嗣	浅野 次夫	石川 武重	浅利 幹雄	下 昭次	二平 豊治	石崎 幸	新谷 雅男	中野 三郎	山崎 精二	川崎 健嗣	 <p>図らずものベストグロ優勝に感激一入です。楽しくスムーズなプレイをしていただいたパートナーの石川、栗原両氏に感謝。 ただ、会話内容が健康談義に終始した事は好スコア以上の成果であった。</p>
	G	84	94	93	101	99	86	91	102	103	96	84	
	H	14	24	21	24	21	7	12	23	24	19		
	N	70	70	72	77	78	79	79	79	79	77		
	新H	10	19	19									
☆A組 2月23日	入賞者名	横須賀元也	角田 啓輔	涌井 滋	小野寺 敬	坊坂 明	吉田 晴彦	近藤 晋司	横田 拡	鈴木 博之	鷹野 重威	坊坂 明	 <p>3オーバーでなんとか入賞できるかな、と気楽な気持ちだったのでビックリ。寒いので実力者たちが敬遠したせいでしょうか。楽しいラウンドをご一緒したパートナーの角田、佐野、稲田さんに多謝。</p>
	G	90	92	87	95	82	95	99	118	108	111	82	
	H	15	14	8	16	2	15	18	36	25	28		
	N	75	78	79	79	80	80	81	82	83	83		
	新H	12	12	7									
☆B組 2月20日	入賞者名	近藤 正文	久保 英章	松井 昌夫	牧 英夫	柏木 光義	大矢 秀夫	渡部 登	加藤 格司	箕輪 勉	橋本 宏	久保 英章	 <p>雨で順延、今度は雨足に追われ、追いつかれ逃げるようなゴルフでした。+2で優勝出来たなんてびっくりしかし、”嬉しい”の一言です。同伴者（久保、曾根原、青木諸氏）に感謝申し上げます。</p>
	G	96	81	93	105	96	94	99	100	88	91	81	
	H	22	6	18	36	21	16	21	22	9	11		
	N	74	75	75	69	75	78	78	78	79	80		
	新H	18	5	16	26								
牧 秀夫氏は初参加のため4位													
☆C組 2月9日	入賞者名	池上 久也	星野 和貞	児矢野 勇	羽鳥 文夫	石上 維宏	田中 治彦	秋山 豊太郎	酒井 功一	今井 信一	昨野 信政	池上 久也	 <p>良き同伴者の今井、酒井、箕輪さん（全員ネット70台）とリズム良くプレーでき、初めてのBG・優勝で感謝しています。アプローチパットが下手なので、更に練習・精進します。</p>
	G	83	96	87	92	95	94	88	90	84	84	83	
	H	9	22	12	17	20	18	11	13	6	6		
	N	74	74	75	75	75	76	77	77	78	78		
	新H	7	19	11									
☆D組 2月2日	入賞者名	滝川 嘉夫	広瀬 英貴	花見 幸作	木内 正	石田 宏一郎	中田 正義	四十物 雄次	嶋田 晴勝	岡田 定五	木内 一之	山野 邦雄	 <p>「芝」の上にも3年」本日良きパートナーと天候に恵まれ、はからずも優勝することができました。このかっこ悪いハンデで、目立つ時は優勝と、目立たないように長い間じっと耐え忍んできた甲斐がありました。</p>
	G	102	87	91	97	91	95	99	92	87	88	85	
	H	34	12	16	22	14	18	22	13	7	8		
	N	68	75	75	75	77	77	77	79	80	80		
	新H	24	10	14									

エイジシュート 達成

A組 坊坂 明氏



9月22日、第192回競技会で、A組の坊坂明氏がグロス74の素晴らしいスコアで見事エイジシュートを達成されました。本会でのエイジシュートは、青木忠氏（2回）に続く二人目の快挙です。上位入賞常連の同氏の技量は誰もが認めるところですが、74歳での達成はご立派です。皆さんの祝福に、顔をほころばせながら喜びに浸っておられました。おめでとうございます。 競技委員会

坊坂氏 談

仲間との触れ合いを愉しみ、仲間の技術を取り入れ、リラックスと精神集中を体験する。そんな目的意識で、何時かは「エイジシュート」を成し遂げたい。そんな夢のような願望が10年も早く実現。「やったあー！」の達成感、嬉しさが込み上げてきます。

全ての仲間に、感謝の念一杯です。こんなスコアは二度と出るとは思っていません。「驕る平家は久しからず」「勝って兜の緒を締めよ」私の大好きな言葉です。有難うございました。

ご意見コーナー

会員皆様のご意見・ご質問をお待ちします。

- Q. ボールのところに蛇がおり、この時のボールの扱いは？ (A組 H.Y)
- A. 『生きている蛇は局外者であるが、死んでいる蛇はルースインペディメントである。』
「ゴルフ規則裁定集」裁定No18/4 蛇の規則上の扱い《発行者（財）日本ゴルフ協会》
したがって
生きている蛇を追い払うことによりプレー続行可能ですが、もしボールが動かされた場合罰はなく、また、そのボールはリプレイスされなければならない。
死んでいる蛇はルースインペディメントですので、ハザード内にあるかハザードに触れている場合を除き罰なしで取り除くことができる。 (エチケット委員会)
- Q. 会報に投稿された川柳に、特選とか、天・地・人のような賞をつけるか、あるいは年間投句者1~5位を表示するなどメリハリをつけては如何でしょうか。 (D組 K.W)
- A. 投稿者に大変なご苦勞をおかけしているわけで、ご指摘のようにできれば表彰を考えたいとは思いますが、それには選者が必要です。シニア川柳は主にゴルフに関するものが大部分で、選者には川柳とゴルフの両方に通じた人が必要となります。今のところ適当な人材の見当がついておりません。お心当たりがあればご紹介いただければと思います。
また、現在は自主的な投句が少なく、競技の優勝者、BBのものが大部分ですので、選考の対象が狭いという問題もあり、投稿をもっと活発にする手立ても考えなければと思って
おります。 (広報委員会)

為せば成る

A組 鈴木 三郎



私の現在の年齢は九十一歳です。
「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」この歌を若い頃、自分の健康についてこの考え方を導入していこうと私なりの実行したことは次の様な内容で今も毎日の生活の中に生かしております。

1. 酒と煙草のうち、煙草は絶対にやらない。酒については出来るだけ避ける。
2. 好んでスポーツ（ゴルフと軟式テニス）を持続する。
軟庭は四十八歳まで約四十年間、この間、県の国体選手として十四回程、北は北海道の旭川大会から、南は四国の松山大会等々。ゴルフは四十八歳から始めて四十年間、日立シニア会の発展のための一員として努力して参加、最初は十五、六名の会員が今は四、五百名の繁盛振りです。
3. 毎日午前十時よりと午後三時より、私なりの体操を欠かさずに実行する。
4. 午前十時の体操後、必ず散歩をする。雨の日などは除く。散歩は脚力を維持するため。
5. 三度三度の食事は欠かさずに。そして出来るだけ出されたものは全部食べる。
6. 食をよくするために、歯の健康を考えて毎食事に牛乳と小魚煮を必ず食べてビタミンCを摂取する。

健康維持のためのスポーツは、軟庭は四十八歳まで、ゴルフについては四十八歳より現在まで約四十年間、今もその意欲を持ち続けております。以上が私の健康法のささやかな内容です。

シニア川柳

打つよりも木陰恋しく涼をとる
古い谷 勲

買ひ替へのバターが急に決まりだし
古目谷 勲

ブービー賞また俺かど苦笑い
薄 浩八

ブービー賞どんな賞かと孫が聞き
薄 浩八

ブービー賞狙ってとれるものでなし
薄 浩八

BB賞我が身を責めつつ泣き川柳
薄 浩八

BBで迷いつづけたクラブ購う
薄 浩八

次頑張りますと云ってはみたがまたBB
五十嵐 慧夫

BBも賞の内よとなだめられ
五十嵐 慧夫

棚ボタぞエイジシュート転げ込み
吉田 博通

吾が歳と同じ打数に吃驚し
吉田 博通

参加することに意義ありBB賞
坊坂 明

右左運動不足にもってこい
坊坂 明

ブービーに吾も人の子負け惜しみ
渡邊 則之

帰宅後にタラレバ分析庭で打つ
渡邊 則之

ブービーにローハンディーがほくそ笑み
坊坂 明

本当かな卒寿の優勝われながら
坊坂 明

卒寿だがゴルフやり度い5・6年
坊坂 明

優勝の秋新しいクラブ一つ増え
齋藤 隆

いまましひとの巧さと滑らかさ
齋藤 隆

これからの楽しみ奪ったぶつちぎり
清宮 新一郎

優勝し心配なのは次BB
清宮 新一郎

OBにロストにシャンクこれでBB
高山 省三

なぜできぬイチローの如きねらい打ち
高山 省三

Widowも歓迎される歳となり
滝川 嘉夫

藍ちゃんに取らせて見たやBB賞
滝川 嘉夫

杉山 千

二ユークラブ新宮投資で年数え
石川 良雄

退会で去りゆく友の身を案じ
石川 良雄

白球は何故か行く手の穴を避け
今井 信一

優勝は無心の中に潜みおり
今井 信一

ブービー賞入賞したよと家内には
横山 昭慈

また定年犬の散歩に二ユーフェイス
横山 昭慈

すべてよし天気同伴者ハンデ運
四十物 雄次

ブービーでかなくなり捨てた腕自慢
堀江 浩一

バンカーは上手い筈だが大叩き
堀江 浩一

いいショット今日やれるぞと次ザクリ
正岡 功

バーデイの後のホールでダブルパー
正岡 功

またしても我が腕未熟次回の夢
林崎 正勝

優勝の意気込みだけか今日もまた
林崎 正勝

この一打念じたボールがロストとは
高山 省三

あつあ、あ、寄せワン狙ってタボたたき
高山 省三

十八番でスコア数えて大たたき
池上 久也

何故できぬ暫定打のときナイスショット
池上 久也

花道へ落とすつもりが砂道へ
滝川 嘉夫

早朝の寒さこらえてナイスショット
滝川 嘉夫

枯れ芝は良ところがりナイスオン
近藤 正文

膝痛を言い訳にするBB賞
近藤 正文

参加することに意義ありシニア会
青木 昱秀

優勝し次のブービー気にかかり
青木 昱秀

ブービーはクラブのせいと又替える
川崎 健嗣

100ヤード昔PS今8番
川崎 健嗣

初バーデイガッツポーズもぎこちなく
横須賀 元也

ころがして幾く年過ぎしBBの道
横須賀 元也

何とするうら芽裏目の日和かな
栗原 誠

競技委員会

1. 平成18年度競技日程

平成18年度から運営の効率化を図るため、これまでのS~D組の5組編成をA~D組の4組編成としました。
(総務委員会だより 平成18年度組別人員構成について 参照)

回数	競技日	組	予備日	回数	競技日	組	予備日
195	4/13 (木)	A・B合同、総会	4/17 (月)	197	7/13 (木)	C	7/17 (月)
	4/20 (木)	C・D合同、総会	4/24 (月)		7/27 (木)	D	7/31 (月)
196	5/11 (木)	A	5/15 (月)	198	9/14 (木)	B・D合同	9/19 (火)
	5/18 (木)	B	5/22 (月)		9/21 (木)	A・C合同	9/25 (月)
	5/25 (木)	C	5/29 (月)	199	11/2 (木)	A	11/6 (月)
	6/1 (木)	D	6/5 (月)		11/9 (木)	B	11/13 (月)
197	6/29 (木)	A	7/3 (月)	11/16 (木)	C	11/20 (月)	
	7/6 (木)	B	7/10 (月)	11/30 (木)	D	12/4 (月)	

平成18年度チャンピオン戦：H19 3/1(木) (平成18年度 1位~3位、BGの方を対象に)

注：・4月と9月の合同競技会は日立ゴルフクラブで行います。

・第200回競技会は記念大会とし、大みかコースの2月開催を見送り、4月に日立ゴルフクラブで開催致します。

2. ハンデキャップ改善者

平成18年度見直しにより、下記の方が改善されました。425名中、8名のみで、日頃の地道な努力の結果でありここに顕彰申し上げます。

組	氏名	新HD	旧HD	組	氏名	新HD	旧HD
A	安達 宏	28	29	C	川本 一俊	19	20
B	篠田 和男	28	29	C	小荒井 弘	31	32
B	吉田 研之介	19	21	C	酒井 功一	12	13
C	青木 逸郎	33	35	D	鮎川 隆	31	32

エチケット委員会

JGAゴルフ・用語ミニ解説：アンプレヤブル

最後に打った場所に戻るなどの救済を受けられる

アンプレヤブルは、ボールがウオーターハザード内でない限り、いつでも自分の判断で宣言し、1罰打を付加し、救済を受けることができる。その方法は次の3つから選ぶことができる。

① ボールを最後に打った場所へ戻る

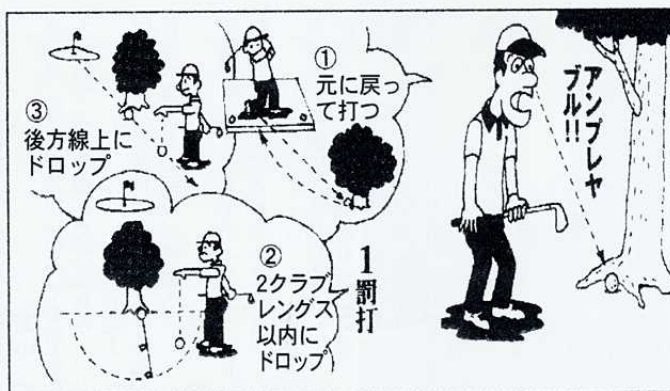
アンプレヤブルを宣言したボールを最後に打った場所の、できるだけ近い地点へ戻る。この処置をとる場合は、ボールの所在を確認する必要はない。前の位置がティインググラウンドならば、ティの範囲内からプレー。ティアップすることもできる。スルーザグリーンやバンカーならドロップ。グリーン上にある場合はプレーする。

② ボールから2クラブレングス以内にドロップ

アンプレヤブルとしたボールの止まっている位置から2クラブレングス以内で、ホールに近づかないところにドロップしてプレー。バンカー内のボールの場合は、バンカー内にドロップする。

③ ホールとボールを結んだ後方延長線上にドロップ

ホールとボールが止まっているところを結んだラインの後方延長線上にドロップする。後方なら、その距離に制限はない。が、ボールがバンカー内にあった場合は、ドロップするのは同じバンカー内に限られる。



総務委員会

1. 会員状況 及び 平成18年度組別人員構成について

会員はこれまでS組～D組に編成されていましたが、運営の効率化を図るため平成18年度から大幅に編成替えをしてA組～D組の4組編成とすることにしました。

(1) 会員数現況 (H18. 3. 2)

組	年齢区分	前年度 H17.3.31	入会	退会	現在
S	77歳以上	53		7	46
A	71～76歳	85		15	70
B	68～70歳	125	3	18	110
C	65～67歳	125	4	12	117
D	60～64歳	64	19	1	82
合計		452	26	53	425

(2) 平成18年度 新組編成

組	生年区分	人数
—	—	—
A	S 7年 以前	88
B	S 8. 1. 1～S 11. 12. 31	126
C	S 12. 1. 1～S 14. 12. 31	114
D	S 15年 以降	97
合計		425

2. 新入会員 (H17. 7. 21 以降)

No.	入会	氏名	出身	組	HD	住所
13	8月	溝井 貴夫	(日) C	?		日立市西成沢町
14	9月	好永 俊昭	(日) D	28		日立市田尻町
15	10月	関 幸一	(日) D	22		日立市西成沢町
16	10月	中村喜久男	(日) D	16		日立市中成沢町
17	10月	早川 実	(線) D	19		日立市小木津町
18	11月	鈴木 伸孝	(線) D	14		東海村白方
19	11月	羽鳥 文夫	(日) C	17		日立市小木津町
20	11月	和田 辰治	(日) D	?		日立市久慈町
21	11月	緑川 正和	(日) D	23		日立市南高野町
22	12月	斉藤 宏資	(線) D	15		日立市川尻町
23	12月	近崎 充夫	(研) D	?		日立市諏訪町
24	H18/1月	亀井淳太郎	(お) D	13		ひたちなか市馬渡
25	2月	竹村 明	(お) D	?		水戸市千波町
26	3月	鈴木 勝美	(線) C	20		日立市石名坂町

3. 退会者 (H17. 7. 21 以降)

No.	退会	氏名	出身	組	事由
43	9月	堀口二三男	(線) S		健康上
44	9月	川亦 直衛	(日) C		ご逝去
45	9月	黒羽 達雄	(日) A		健康上
46	10月	畠 良一	(日) A		健康上
47	10月	蜂谷 武雄	(日) B		自己都合
48	11月	斉藤 清	(と) C		自己都合
49	12月	黒田 和助	(佐) B		自己都合
50	12月	小坂橋寿一	(日) D		健康上
51	12月	井出 成夫	(線) B		自己都合
52	12月	下堀 幸夫	(線) B		自己都合
53	12月	勝田 禎治	(計) B		健康上

4. 会員数の推移

年度	H・12	H・13	H・14	H・15	H・16	H・17
新入会員数	68	41	24	33	10	26
退会者数	21	33	41	38	42	53
年度末会員数	498	506	489	484	452	425

5. お願い

(1) 新入会員 勧誘のお願い

日立シニア会の会員数は上記の会員数推移表のように、平成13年をピークに減少の傾向にあります。お知り合いの方で、ゴルフに興味をお持ちの入会資格者がおられましたら是非入会をお奨め下さい。

(2) 年会費

年会費 (3,000円) の納入は、新年度最初の競技会時又は、銀行振り込みでお願い致します。規約により年度末まで納入のない場合は、自動的に退会扱いになりますので注意下さい。

- ・ 振込先：常陽銀行兎平支店 店番号103
- ・ 口座番号：1332207
- ・ 名前：日立シニア会代表 石川 隆宏

6. コース除草作業協力依頼

〔6月7日(水) 朝 8時30分～〕

恒例のコース除草作業を行いますので、会員皆様の積極的な参加をお願いします。午後はコースを開放しますので、ご自由にプレーを愉しんでください。〔昼食は会で準備、又、雨天の場合は次週6月14日(水)に延期〕

6. 平成17年度決算報告

収 入 (円)		支 出 (円)	
	平成17年度		平成17年度
イ. 前年度繰越	830,640	イ. 競技会案内状	375,472
ロ. 年会費	1,269,000	ロ. 賞品代	1,513,372
ハ. 競技会参加料	2,170,000	ハ. パーティ代	1,016,110
ニ. 競技委員会預り金	150,000	ニ. 印刷製本費	489,700
ホ. 競技会不参加料他	3,019	ホ. その他	401,455
合 計	4,422,659	合 計	3,796,109
平成17年度残高 収入 4,422,659 - 支出 3,796,109 = 626,550			

[支出の補足説明]

ニ. 印刷製本費	・ 会員名簿印刷	118,000円	ホ. その他	・ 会報、名簿送料	51,520円
	・ 会報17、18号	371,700円		・ 諸経費(マーク代、役員会 帽子...他)	349,935円
	計	489,700円		計	401,455円

7. 平成18年度(選任予定)役員 (◎:委員長 ○:副委員長 下線:新任)

会 長 久保寺朝二

副会長 二平 豊治(総務、競技担当)

山崎 精二(エチケット、広報担当)

監 事 近藤 晋司 石崎 幸

顧 問 斎藤 隆 一木 利信 鈴木 三郎

総務 ◎佐藤 弼也

委員会 海老根克明 石川 隆宏

高山 省三

競技 ◎阿部 章

委員会 鈴木 敏彦 野田 仁郎

根本 清 幸田 智一

海老根 満 稲田 周三

松尾 孝 小林 清峻

蓑輪 勉 内藤 凱夫

松浦 諄 茂刈 武人

エチケット ◎中津川恵一

委員会 中野 文夫 酒井 功一

梅原 昇

広報 ◎吉田 晴彦 ○濫口 七郎

委員会 橋本 正明 小西 健司

千葉 優明



H17年度委員の皆さん、1年間ご苦労様でした

編集 後記

- ◆『ゴルフがよろしい 浪平翁の徳育』と題して、週刊誌ゴルフダイジェストの昨年10月25日号にゴルフマナー研究家 鈴木康之氏により大みかゴルフコースが紹介されました。此処を設立した小平初代社長の大経営者の洞察力を讃美。また草取り奉仕活動等にもふれ、『砂入れしていないディボットが一つとして見つからなかったゴルフ場は後にも先にもここだけ』と結んでいます。当会としても誇らしい次第です。
- ◆日立病院の先生方に8回にわたりご執筆頂いた『お元気ですか?』は今回にて終了になります。院長先生はじめご多忙の中ご不腐心賜った皆様へ心から御礼申し上げます、今後共随時ご指導をお願い申し上げます。有難うございました。
- ◆表紙写真は、大みかGCグリーンキーパー 榎 利直氏のご提供です。当会に対する裏方皆様の日頃のご配慮に感謝申し上げます。 編集委員 橋本 正明